

平成24年度 日本山岳協会

自然保護委員会総会・研修会 予報

十勝岳は、日本で最も活動的な活火山として現在、地震計・泥流センサー・防災ダムなど、嚴重な観測・防災体制が敷かれている山である。また、富良野岳は花の山として知られる他、安政火口周辺の崩壊が進んだ山として知られている。

火山防災、登山道の補修、泥流の植物復元状況等、自然保護の課題が盛り沢山の地域を視察する。

- 1、期 日 平成24年9月8日（土）9日（日）
 - 2、会 場 国立大雪青少年交流の家（上川郡美瑛町白金温泉）
 - 3、主 催 社団法人 日本山岳協会
 - 4、主 管 北海道山岳連盟
 - 5、後 援 美瑛町（予定）
 - 6、協 賛 秀岳荘（予定）
 - 7、参加費 15,000円（宿泊費・移動交通費・懇親会・記念品他）
- 第1日
- 1、巡 検（予定）バスで望岳台～旧噴火口の防災設備・防災センター
（案内）道岳連所属自然保護指導員
 - 2、委員会総会 国立大雪青少年交流の家
 - 3、懇親会 国立大雪青少年交流の家
- 第2日 自然保護活動登山
- Aコース 十勝岳
望岳台→グランド火口→十勝岳→望岳台
- Bコース 富良野岳
十勝岳温泉→富良野岳→三峰山→上富良野岳→十勝岳温泉
- Cコース 三段山
吹上温泉←→三段山

